

事例：中学校における災害図上訓練 (DIG)

日時 11月30日(金) 13:10~14:55

参加者 川崎市立住吉中学校 中学2年生

写真1



1. 地域特性を把握するために、大きな地図に地域の特徴を書き込み、基本地図を作ります。(写真1)

- ・中学校と自宅の場所は？
- ・主要な道路、鉄道の場所は？路地や車の通れない場所は？
- ・河川、水路、海岸線、池、沼はあるか？
- ・公園や広場、逃げられる場所は？
- ・公共的な施設の場所は？
(役所、消防署、警察署、病院、自治会館など)
- ・非常時に役に立つ施設の場所は？(避難所、備蓄倉庫など)
- ・災害時の要援護者はいるか？

写真2

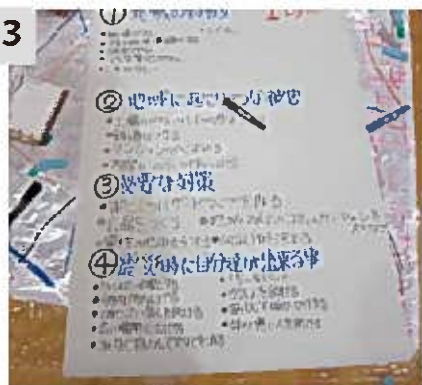


2. 震度6の地震の映像を見て、地震発生のイメージをしてもらいます。

3. 地震で起こりそうな被害を想定して、地図に書き加えます。(写真2)

- ・建物の倒壊、橋の落下などの被害が発生しそうな場所は？
- ・火災が発生しそうな場所、拡大しそうな範囲は？
- ・通行止めになりそうな場所は？

写真3



4. まとめを作成します。(写真3)

- ① 地域の特徴のまとめ
- ② 地域に起こりそうな被害のまとめ
- ③ 必要な対策を考えよう
- ④ 震災時に自分たちができることを考えよう

写真4



5. グループ発表とふりかえりをします。(写真4)

発表内容の抜粋

- ① 住宅が密集している、お年寄りが多い、狭い道路が多い
- ② 火災(住宅・工場)、渋滞、ガラスが割れる、鉄道が止まり帰宅困難者が発生 など
- ③ 非常食の用意、集合場所を決める など
- ④ 冷静な避難、消火の手伝い、けが人の手当、声かけ、心肺蘇生、お年寄りを助ける など